

令和 6 年 1 0 月 7 日  
四 国 電 力 株 式 会 社

## 伊方発電所 3 号機 炉内核計装装置の不具合 および定期検査の工程について（第 3 報）

定期検査中の伊方発電所 3 号機（定格電気出力 8 9 万キロワット）において、送電開始に向けて、原子炉内の燃料の出力分布を測定する検査を行っていたところ、炉内核計装装置\*が不調であったため、保守員が確認を行い、1 0 月 2 日 1 時 5 0 分、当該装置の詳細点検が必要と判断しました。

当該装置の詳細点検に伴い、今後の工程は遅延する見込みであり、送電を開始した際はあらためてお知らせいたします。

なお、本事象によるプラントへの影響および環境への放射能の影響はありません。

今後、詳細を調査します。

※ 原子炉内に設けた案内管（5 0 ヶ所）に小型の可動検出器を挿入し、中性子の量を測定することにより原子炉内の出力の分布を測定する装置。

（1 0 月 2 日お知らせ済み）

調査の結果、当該装置の不具合の原因は特定できたものの、その対策の検討等に時間を要する見込みであることから、準備が整い次第、原子炉を一旦停止いたします。

引き続き、安全を最優先に定期検査の作業を進めてまいります。

なお、本事象によるプラントへの影響および環境への放射能の影響はありません。

（1 0 月 7 日お知らせ済み）

伊方発電所 3 号機は、本日 1 8 時 5 9 分、原子炉を停止いたしました。

引き続き、安全を最優先に定期検査の作業を進めてまいります。

以 上